

10/22.11/27 “みんなの遊び場ボールパーク”開催についての報告書

木曾地区野球協会
高校代表 森 大樹

1 概要

昨年度は11月のみ開催で、今年度は10月11月会場を変えて2度開催。

両日とも60名程度参加し、延べ120名程度の1歳から10歳のお子様に参加したイベントとなりました。野球をやってほしいということはもちろんありますが、一番は遊び場の少ない木曾地域の子どもたちに“場”の提供ができればと考えたことから始まったイベントであります。

木曾地域のイベントとして新聞三社(市民タイムス、信濃毎日新聞、中日新聞)が集うイベントはなかなか無いため、コロナ禍ではありますが、地域のイベントとしては大盛況であったと考えられます。

2 内容

①10月

日義グラウンドと体育館両方を使い、参加したお子様には各ブースでお菓子を渡し、受付にて新聞紙で作った手作りのバックを渡した。8ブースでボール等を使ったアトラクションなどを用意し、お子様全員参加型のイベントとして、みんなでやる玉入れや鬼ごっこを用意しました。

また、野球の道具を知っていただくために、スポーツ店に依頼し移動販売を行っていただきました。

アンケートでは参加された親御様より下記のような嬉しいご意見をいただきました。

昨年も参加させて頂きましたが、今年は更に良かったと思います！ グラウンドででき、こども達は大はしゃぎ♪お兄さん達に優しく教えてもらいお菓子まで♪最後はお菓子目当てでしたが笑 投げる、打つ、走る、作る、色々な経験ができて、とても良かったです！ありがとうございました♪

運営された方々、事前準備から当日の運営までおつかれさまでした。こういった地域だからこそみんなで協力し合って、こども達の『遊び場』を創っていくことが必要だと感じます。公園は年中熊や雑草の心配があり、安心して小さな子どもを外遊びさせられません。このような機会を創っていただき、ありがとうございます。個人的には高校生の投打を間近で見れて感動しました。子ども達にもいいものを見せられたと思います。ありがとうございます。

初めて参加させて頂きましたが、お兄さん達がすごく優しく教えて下さり、息子達も色々なブースで色々な体験ができておやつも貰えてすごく楽しい時間を過ごさせて頂きました。おやつを入れる手作りのバッグも一人一人貰えて、嬉しそうにおやつを入れていました。普段中々できない事をこの様な形で経験させて頂き感謝の一言です。ありがとうございました。また次回も楽しみにしています。

②11月

福島小学校の体育館をお借りして、10月に行ったイベントより対象年齢を下げて、未就園児でも楽しめるイベントになるように企画したものが11月のイベントであります。シールラリー用シートを用意し、8ブース全て回ると景品がもらえる方式で行いました。昨年はウレタンボール、今年は吸盤のついたボールと捕球用板をシールを集めてくださったお子様にプレゼントしました。

また、地域の駄菓子店にも協力を依頼し、物販を体育館内で行いました。くじ引き等もあったため、イベントとしても大変盛り上げていただきました。

下記は参加者からのアンケート結果となります。

高校生ってあんなに優しい笑顔を見せてくれるのだなと、感動しました。次回があれば、また参加させてほしいです。母子共に参加できて大満足でした。

家でボール遊びをすることもありますが、狭いので思いきりできません。今日は気にせずバットを振ることができ、とても楽しかったようです。ありがとうございました。



3 今後について

木曽地域との密接な連携をとることで、野球というスポーツを知るだけでなく、毎年の“遊び場”として地域に浸透してきています。“4月にも是非やってください”というご意見もいただいております。このような地域のイベントを通して、学童チームに加入してもらえるようになることはもちろん、高校野球チームの存続にも大きく繋がっていく活動にもなると考えおります。できる限り継続的にやっていくことが木曽地域のためになるので、オフシーズン問わず、小さなイベントも含めて開催できればと考えております。

ご参加いただいたお子様並びに保護者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

また、他地区からの来場者もいらっしゃいますので、よろしければご参加いただければ幸いです。